

紫陽花

闇の中の光と影

月の砂漠をはあるばると
旅の駱駝はゆきました
金と銀との：

脳裏に浮かぶ
光景

月明かりの砂漠
黙ってゆく ゆっくりゆく
駱駝とそれに乗る人
その影の歩み
その調子と秩序：

父がよく
湯船につかりながら
歌っていたこのうた
聞こえてきた
その声の記憶が
幼い頃の記憶が
教えてくれる

ここが
父の魂のふるさとだと。